



# おもちゃコンサルタントの 病児の遊びとおもちゃケア

2021年度WAM助成事業報告書



医療の現場でも「おもちゃと遊び」が活躍します！

# おもちゃコンサルタントの 病児の遊びとおもちゃケア

NPO法人芸術と遊び創造協会では、2000年から、病院の病棟や外来にボランティアを派遣し、子どもたちにおもちゃと遊びを届けています。2019年度は全国17カ所で約80名のおもちゃコンサルタントがボランティア活動してしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2020年度より残念ながらすべての病院で活動休止中です。「いまできることを」という想いで、昨年度からオンラインを活用した遊びの広場を実施しています。参加者の声から、オンライン事業継続の必要性を強く感じ、今後はリアル・オンライン双方の遊びの場を支援していきます。



病気であっても、子どもにとって遊びは生活の一部であり、とても大事なものです。しかし、病気になる、体のだるさや不自由さから遊びの力が弱くなります。また、入院ともなると家族や友だちからも離れて生活しなくてはならず、今までの生活とは異なる環境になります。そのような環境下でも、子どもにとって遊びは楽しみであり、憂さを晴らすものであり、新しい友人とのコミュニケーションの場でもあります。

病児にとっておもちゃやその遊びは、いろいろな意味を持ちます。最近では病棟の中にプレイルームがあるところも多くなりました。プレイルームに入ると、子どもも保護者も気持ちが高揚して、遊びたい気持ちになり、とてもよい気分転換になると思います。おもちゃを見るだけでもワクワクしてくるのです。また、プレイルームでは子ども同士の遊びも期待できます。おもちゃは単なる時間つぶしの道具ではなく、コミュニケーションのツールです。そのことを一緒に遊びながら伝える役目を持つのが「おもちゃコンサルタント」です。

ボランティアが子どもの遊びに寄り添うと、遊びがさらに広がって、楽しい時間が過ごせます。一緒に遊ぶ子どもにとっても、相手が一緒に「その遊びいいね」とか「面白いね」「よくできたね」と言ってくれることは、遊びをより楽しいものにしますし、達成感や満足感を持ち、自己肯定感につながります。おもちゃを楽しく上手に使って、病気の子どもたちの心を豊かにするボランティアを、ぜひ一緒に始めてみませんか？



## 活動場所

順天堂大学医学部小児科  
東京都立小児総合医療センター  
東京女子医科大学病院  
東京医科歯科大学医学部附属病院  
青梅市立総合病院  
東京西徳洲会病院  
杏林大学医学部附属病院  
日本赤十字社医療センター附属乳児院  
ひまわりハウス  
中川の郷療育センター  
埼玉医療大学国際医療センター  
千葉大学医学部附属病院  
神奈川県立こども医療センター  
あそび・おもちゃCLUB (難病児ときょうだいの遊びの広場・大阪)  
大分県立病院  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター  
琉球大学病院

## おもちゃコンサルタントの「病児の遊び支援」WEBサイト

- 病院・乳児院などで活躍する「おもちゃコンサルタント」へのインタビュー記事など

<http://toycon-for-specialkids.strikingly.com/>



# オンラインおもちゃの広場

「オンラインおもちゃの広場」は、日本中の子どもたちがステイホームをしていた2020年5月に始まりました。子どもも親もストレスが溜まり、大変行き詰った状態であると当事者ご家族から伺い、こうした状況で何かできないかと考えたのがきっかけでした。ZOOMを使用し、双方向のコミュニケーションを大切にしたい、新たな遊びの場がうまれました。

参加者みんなで遊びを楽しむアクティビティや、少人数で対話の時間を大切にするプログラム構成となっています。2年目となった今年度は、スタッフが用意したアクティビティを楽しむだけでなく、参加したみなさんが主体的に楽しみを見つけられる遊びの時間が作れるようになりました。

## 統計

参加者登録のご家族：約180組

参加ご家族数（単位：組）2021年5月～2022年2月までの集計

月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	1月	2月
回数	6回	8回	8回	8回	7回	7回	6回	8回
参加ご家族	29	27	31	39	20	20	18	33

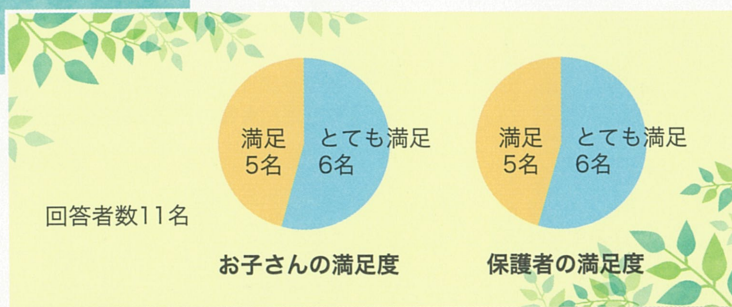
対 象：難病児・障害児と、そのきょうだい

参 加 費：無料

開催方法：事前登録制、オンライン会議ツールZOOMを使用

開催日時：毎週水・土曜日/10:00～10:30（2021年5月～7月、9月～11月、2022年1月～3月の3クール制）

## アンケート



他のお子さんと一緒に取り組めることや作品を見せ合えることで繋がれることはコロナ禍でなかなかお友達とも遊べない中で貴重な時間となりました。ありがとうございました。

コロナの自粛生活が続いています。ずっと家にいて、外にでれないのは、かなりのストレスです。開催かなり助かりました。他のこどもと交流でき、スタッフさんも親切で楽しく過ごしています。

毎回、趣向を凝らした内容で、子供が同じことをしたいと言うので、親がおいつくのが正直大変です。それ程クオリティが高いのだと思います。オンライン説明も丁寧ですし、オンラインでここまで毎回楽しめる手法素晴らしいです。

重い障がいのある子にスポットを当てたオンラインはあまりなく、気にして下さっていること自体うれしく感じています。たくさんの参加はできませんが、これからも続けてほしいです。

毎回楽しみに参加しています！一人ひとりに丁寧に向き合ってくださいのアイコンの皆様のおかげにいつも感謝しています。登録しておけばいつでも参加できて欠席連絡も不要というのがハードルが低く有り難いです。もっともっとオンラインおもちゃの広場のお友だちが増えるよう、私も紹介していきますね！

最初は画面を見ても固まっていた息子が、だんだんと画面に映っているお友達に興味を持って、自分のおもちゃや本を見せてアピールしている姿が印象的でした。

# オンラインおもちゃの広場

## ZOOMを活用した病児の遊び支援ポイント

### 用意するもの

#### パソコン（カメラ付）

☆スマホ、タブレットよりも、  
PCは画面の全体を見渡すことができる

#### wifi又は有線での接続環境

☆事前に接続状況確認

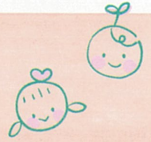
### あるといいもの

#### ウェブカメラ

☆PC内蔵のカメラとの併用で画面切替が出来るので、手元を写したりと遊びの幅が広がる  
(スマホ、タブレットでも代用可)

#### ヘッドセット

好きなおもちゃ



### ポイント

#### 背景

☆デジタルなバーチャル背景よりも『実際のおもちゃ』『季節感のあるかざり』『一緒に作った制作物』などを背後に飾りワクワク感を演出。

#### 制作物の素材は身近なもの

☆ティッシュ、アルミホイル、タオル、くつした、はさみ、のり、テープ、ペン、クレヨン（キットパスがおすすめ！）など。

#### 視覚的配慮

☆手を振るような左右の動作は動きが速いとぶれるので、目で追えるスピードを心がける。はっきりとした色が伝わりやすい。

#### オーディオ機能

☆ZOOMは会議ツールなので楽器の音などは上手く拾えないが『オーディオ機能』である程度は調節できる全員での合唱などは音が微妙にずれていくので適さない。（手話歌がおすすめ！）

#### コミュニケーション

☆双方向のやりとりができるので、同じ部屋でゆったり過ごしているような雰囲気心がけ、用意した遊びを見せるのではなく『一緒に遊ぶ』。  
☆発言したいご家族のとりこぼしがないようにスタッフ全員でフォロー「〇〇ちゃんが素敵なものを見せてくれてるよ！」。



「今日は双子の日」と伝えと、お家のシーサーを見せていただきました



作ったものと一緒に広場に参加中



シールで遊ぼう！



積み木を使って、かたち遊び

### アクティビティ

スタッフであるおもちゃコンサルタントそれぞれ  
お子さんたちの多様な体験に繋がるよう工夫をし

#### 遊ぶ・楽しむ

おもちゃあそび  
アナログゲーム  
わらべうた  
うたあそび  
おはなしあそび  
表現あそび  
布あそび  
パネルシアター  
忍者ごっこ  
タオルあそび  
など

#### 身近な素材で作る

紙コップ  
紙皿  
風船  
アルミホイル  
折り紙  
牛乳パック  
紙  
丸シール  
ペットボトルキャップ  
など



ハートがいっぱい！バレンタインデー

## スタッフの役割分担

毎回のセッションに3~4名のスタッフが対応しています

### 司会者

始まりの会・さようならの会の司会、  
スポットライト操作補助

### ZOOM担当

ホストとして参加者の入退室管理、  
ブレイクアウトルーム作成、  
スポットライト操作

### アクティビティ担当

アクティビティの企画立案、  
進行

### 小グループ

各グループでの司会進行

## タイムスケジュール

- 1 **始まりの会 (5分) 朝の挨拶**  
あいさつの歌 ♪ともだちみんな ♪  
ZOOM操作の説明、練習、今日のながれ
- 2 **アクティビティ/みんなの時間 (10分)**  
ZOOM機能の  
ブレイクアウトルームを  
活用
- 3 **小グループ (10分)**  
おもちゃコンサルタント(1~2名)と参加親子(複数)が少人数のグループに  
分かれて、遊ぶ時間
- 4 **さようならの会 (5分)**  
ZOOM機能の  
スポットライトを活用  
今日の感想、  
みんなに見せたいもの、発表したいこと  
今月の歌(手話歌、合奏、オリジナルソングなど)



里山で栗ひろい



葉っぱにシールの目を付けたら、可愛いお顔になりました



十五夜さん

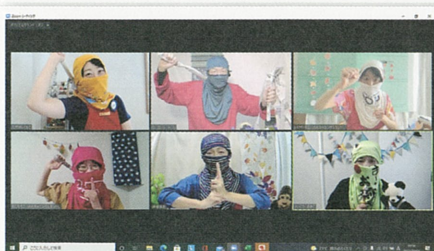


お家にある紙で、指人形とカエル人形の出来上がり

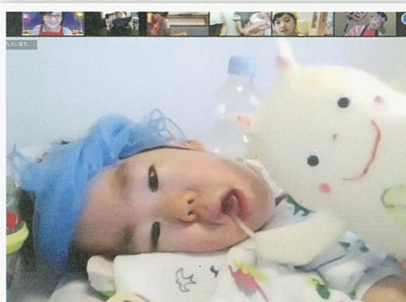
が持つスキルを活かしてコンテンツを用意。  
ています

### 季節や自然を味わう

干支	川遊び
獅子舞	海の景色
お餅	里山さんぽ
雪景色	栗拾い
節分	お月見
ひな祭り	双子の日
梅雨	クリスマス
はっぱ遊び	など
七夕	



忍者に変身！修行中！！



「出来たよ！」見せながら、スタッフとお揃いの  
シフォンスカーフを身に付けてくれました



紙コップ工作。お花畑ができました

# オンラインおもちゃの広場

## 今年度のとりくみ

今年度は、スタッフ皆が共通認識を持ちながら運営していくためマニュアルを作成しました。

### ロゴマーク



子ども達やご家族との交流を深めていく中で、病児の遊び支援活動の三本柱ともいえるロゴマークが誕生しました。



虹は、希望の光  
「光輝く今を」



王冠は、主役  
「一人ひとりが主役の時間」



虹のまわりのカラフルなドットは、仲間  
「ひとりじゃない」

### びっくり箱 (参加者と一緒につくる遊びの時間)



画面の向こうで繰り広げられる遊びに釘付け。

オンラインおもちゃの広場の主役は、参加する子ども達とご家族です。子ども達の「やりたい」を、ご家族の「伝えたい」をキャッチしながら、主体的で対話的な参加となるように、おもちゃコンサルタントはファシリテーターとしての役割も求められています。

そうした意識をもって回を重ねていった結果、参加者からの発信が増え、満足感が深まっていることが感じられるようになりました。それをもっと深めていくために、おもちゃコンサルタントからのアクティビティを提供しない「びっくり箱」の日を定期的に行けるようになりました。

その結果、参加者が今まで以上に、無理なく、自分のペースで声を出してくださるようになるとともに、私達の目指す双方向性のやりとりが、ますます豊かなものとなってきています。



今年度は、きょうだい児さんからの遊びのリクエストもたくさんありました。

### Instagram(情報発信)



smile7kuma

2022年1月より、【オンラインおもちゃの広場】の公式Instagramを開設しました。その案内人を務めるのが、【ななくま】です。広場の広報や参加者への連絡が主ですが、様々な「楽しい」を伝えながら、スマイルな輪を広げていく役割も担い始めています。

全国各地のおもちゃ美術館や観光スポット、日々の生活のひとつこま、季節の草花や行事の紹介などの写真とともに、定期的に情報発信をしています。

広場開催時間は予定があわず参加できないご家族から「広場には参加できないことが多いけど、Instagramを楽しみに見えています」という感想が寄せられています。Instagramを通して「つながっている」というメッセージを届けていくという、もうひとつの意義も見出しています。

また、参加者から新たな参加者へ、広場の紹介をしていただくツールともなっています。

FOLLOW ME



Instagram



## ナイト企画（ご家族との交流）



日々のケアで忙しいご家族のみなさんに、ほっと一息つきながら、楽しい時間を過ごしていただく会。井戸端会議のような、気兼ねのないおしゃべりにちょっとした手仕事をプラス。ZOOMでのお話会は苦手な方も、手を動かしながら、画面越しのおしゃべりに耳を傾ける事もできます。きょうだい見さんも、一緒に作ったり、宿題をしながらそばにいたりという姿も見られます。



## クリスマス企画

2021年のクリスマスには、広場に参加している子ども達とご家族に、クリスマスプレゼントを贈りました。

プレゼントは12月半ばに配送し、「メリー・ナイト」と題した夜の集いの企画に繋げていきました。これは夜に開催され、参加者の保護者の方々とおもちゃコンサルタントが【同じ時間と空間を仲間とともに共有する】というひとときとなり、この企画自体がプレゼントにもなっていたと、感想をいただいています。

さらに、12~2月限定のホームページを開設し、「見て見て！我が家のクリスマス」と称して各家庭のクリスマス装飾や製作した写真を発表するコーナーも作りました。自分の製作物を見てもらう喜びだけでなく、お友達の作品を鑑賞する楽しみにも発展していきました。



「メリー・ナイト」  
おしゃべりしながらペーパーランタン作り



今年度のクリスマスプレゼント



檜原の森おもちゃ美術館に行った【ななくま】からのプレゼント『檜原の森の香り』



保護者の方に「ほっとするひとときを」のお茶



【ななくま】の写真のクリスマスカードと缶バッジ



# オンラインおもちゃの広場



## 病児の遊び支援イメージキャラクター アイドルベア 「ななくま」誕生ストーリー

オンラインおもちゃの広場の活動を知ったテディベア作家のnobukumaさんより、7体のくまをご寄贈いただきました。nobukumaさんは、長年、テディベア教室『アイザックベル』でテディベアを作っています。

くまたちは【ななくま】と名付けられ、オンラインおもちゃの広場開催時には、7体のうちの何体かが画面参加しています。また、【ななくま】は、おもちゃコンサルタントとともににお出かけし、プレゼントを見つけたり、何かを作ったり、見せたいものを探したり・・・

【ななくま】は子ども達に様々な「楽しい贈り物」をしています。

今後は、子ども達とともに【ななくま】のストーリーを創っていきたいと思っています。



### スタッフコメント

広場開始から2年目になり、ママ同士が挨拶したり話しかけたりと、交流がより円滑になっています。ママ同士の会話で通院先や入院先が一緒とわかった時もありました。居住地域関係なく交流できるオンラインの良さを感じています。

2021年度はマニュアルを作成し、大切にしたい事をスタッフ間で共有し再認識することができました。オンラインおもちゃの広場は、『一人一人が主役だよ』というメッセージが伝わる、あったかい居場所になっていると感じます。

“びっくり箱”が始まってから、アクティビティ以外で参加者との距離が縮まったと思います。「見て欲しいもの」「お話ししたいこと」などを、みんなで楽しめる時間となっています。

広場の参加を通して、参加者さん同士を思いやる心が育まれていると感じます。ご家族の方のお誕生日や体調等を喜んだり心配したり。仲間になっていることを感じます。

人との接触が危険となった時に「何ができるか」を手探りで始動したのが広場の活動でした。遊びの可能性を教えてくださいましたのは、広場に参加してくださったお子様とご家族だなあと感謝の気持ちでいっぱいです。

回を重ねるごとに皆さんが自然体で楽しめるようになってきていることが嬉しいです。手話対応の日には手話が必要なお子さんが笑顔で応えてくれると、更に笑顔交わせるコミュニケーションを追求していきたいと思っています。

参加のお子さんが広場の時間を楽しみにしているのが画面を通して伝わってきます。また、手話サポートは手話に興味を持ってくれる姉弟さんや自己表現を手話で表してくれるお子さんと聴覚障害のお子さんだけではない広がりを感じています。

### エピソード

わらべうたで見たボードで、シールを貼るとき、みんなが画面に頭を乗り出してボードをのぞき込もうとしているのが楽しかったです。

興味を持たなかった吹き戻し笛。オンラインおもちゃの広場での吹き戻し笛の様子を見て、一緒に笛を吹いた。別の日には画面スタッフに向かって笛を吹いていた。



# 「冬の芸術教育学校WEB講座」

日時：2021年12月20日(月)  
～2022年1月31日(月)  
オンライン開催



子どもの遊びを支援するボランティアや保育者のためのオンデマンド講座で、歌やおもちゃ、造形などの遊びや保護者支援などの多様な内容で構成しています。繰り返し視聴でき、講座ごとのオリジナル書き込み式「学びのノート」付きで、ポイントをしっかり押さえられ、後から見直せる点が好評でした。全29講座をラインナップ。その一部を紹介します。

## 子どもたちに伝えたい冬の伝承遊び



講師：石川 くに子  
(親子の自由空間ほっと運営主/おもちゃコンサルタントマスター)

日本の伝統文化を知るきっかけになる「お正月遊び」を、おもちゃを作りながら学びます。そして、忘れてはいけないのは“本物を伝えること”として、日本の伝承おもちゃである羽子板や独楽との触れ合いを大切にしましょうと伝えています。

### 受講者の声

実践にすぐ活かせる遊びで、大変わかりやすかったです。

学びのノート活用できそうです。たくさん書き込み、自分だけのノート作りができました。



## わらべうた遊び 未満児編



講師：田村 洋子  
(日本わらべうた協会理事長)

わらべうた遊びは、乳幼児がからだで感じ、心地よいリズムとともに言葉と出合う豊かな経験です。繰り返し楽しむことで、子どもと大人、子ども同士の触れ合いも紡がれていきます。保育園での遊びの様子も動画に多数盛り込まれています。

### 受講者の声

実際の保育園での保育者と子どもの関わり方が見られてよかったです。

わらべうたのバリエーションが無かったので、いろいろな遊び方を知ることができて、とても参考になった。



## 楽しい!心も柔らかくなるシフォン布遊び



講師：頭金 多絵  
(親子共室ぬくぬくだっこらんど主宰/おもちゃコンサルタントマスター)

シフォン布2枚付きで、即実践!シフォン布は、何といても色の美しさと柔らかさ、適度な大きさで、赤ちゃんにも安全性が高く、幼児の見立て遊び、ごっこ遊び、身体遊びまで、多様な活用ができることを具体的に多数紹介しています。



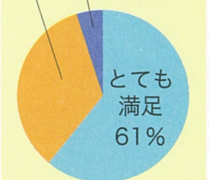
### 受講者の声

0歳児の担任をしているのでとても参考になりました!明日さっそくやってみたいです!

いつも使っているシフォン布の遊びバリエーションが広がり、子どもたちと遊ぶのが楽しみです。

## セミナー DATA

満足34%  
やや不満足5%



参加人数  
131名  
アンケート  
回答率  
31%

## より良い保護者支援のために



講師：津村 薫  
(Felien (フェリアン) 副所長・講師)

保育・子育て支援の分野における保護者支援は重要で、より良い専門性を踏まえた、温かく丁寧な関わりが求められます。信頼関係を築く望ましい支援の姿勢や、言葉掛けなどを学びます。支援者のセルフケアの大切さも考えます。

### 受講者の声

ストレッチ体操もあり、集中して聞いていても疲れず学べました。

お話が上手で引き込まれてしまいました。職場の現状や問題にぴったりのアドバイスはありがたかったです。



地方に住んでいるのでオンラインで受講できてありがたかったです。

WEB講座は、自分のタイミングで受講できることは良い。他の受講生との交流があれば、もっとアイデアの情報交換ができるのですが・・・

丁寧でわかりやすかったです。知らないことがたくさんあり良い学びでした。

他の講座では学べない内容があるので、次の機会にも学びたいです。



# 「病児の遊びとおもちゃ」セミナー

日時：2021年9月23日（木・祝）  
10時～12時  
オンライン開催

病児の遊び支援ボランティア活動に参加したい、興味がある、という方のために、おもちゃを使った病児とその家族へのアプローチをテーマに、セミナーを開催。今年度は当事者ご家族をゲストにお迎えし、特性への理解を深めるセミナーとなりました。

## 参加者の声

- 一番は、拓人さんの演奏が素晴らしかったです！そして、その演奏をずっと支え、寄り添い、育ててこられた真由美さんの講演も、心に響くものがありました。子どもの可能性を信じ、寄り添っていくことの大切さ、「特異を得意にできる」素敵な言葉だなと思いました。これは、障がいのあるないに関わらず、親として大切なことだと感じました。
- 遊びがコミュニケーションを向上させるということ、改めて感じました。子どもにとっての遊びの重要性や意味を再認識することができました。
- 子どもは義手ユーザーですが、拓人さんのピアノ演奏だけでなく、仕事場での様子を拝見でき、大変参考になりました。子育てでの気付きや、前向きなチャレンジについて分かりやすくお伝えいただいて、私自身が励まされました。また病児のご家族へおもちゃを通しての支援についても、目から鱗のご報告に驚きました。
- 子どもの成長を助け、きょうだいお友だちも引き寄せ、おともくすつと楽しめるおもちゃ、という発想本当に素敵ですね。関わりのある病児とご家族の為の施設で提案してみたいと思います。

## 病児の遊びとおもちゃ セミナー & 活動参加のお誘い

2021.9.23 10:00～12:00

講演 特異と得意にかた

**① 自閉症ってなんですか**

3つの難しさ  
対人関係、コミュニケーション、興味

**② 演奏活動にいたる道**

音楽からの出会い、音楽の仲間、演奏の準備

**③ 特異を生かして会社員に**

特異→漢字読める、ピアノの指が早く、ワープロ検定1級

**④ 新たなステージの挑戦**

SPECIAL BEAUTY JAPAN、SD(ソニー)コンサート、TOYO2020

**あそびのよし**

遊びの5つのポイント  
経験値、五感、振付、リズム、時間

**相談**

地域、相談、後援

**遊びのボランティア**

美術館へお出かけ、PLAY MUSEUM

**夏休みスペシャル**

Web版、東山向け、出張

**お話し**

3つの感動、音楽の才能を伸ばした、2つの動作が得意な子に

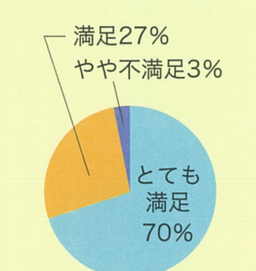
**開会のあいさつ**

NPO法人、全国ネットワーク事務局、福島 操 氏

**1人1人演奏～エンディング～**

小柳 拓人、拓人さん、真由美さん

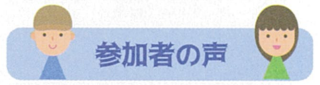
## セミナーDATA



参加人数 123名  
アンケート回答率 27%

# 第17回公開セミナー「病児の遊びとおもちゃケア」

今年度は、基調講演にて、「誰もが自分のしたいことを選べる社会に」、インクルーシブミュージアムの取組などのお話や、病児の遊び支援の活動実践報告、実際の遊びの体験会など、オンラインでのセミナーを開催しました。



●基調講演にははっとさせられる言葉が沢山あり、自分自身の認識の持ち方にも反省することが多々ありました。病児の遊び支援活動はオンライン下でも工夫によって楽しい時間が提供出来ることに、昨年同様感心し、元気をいただきました。最後の「みかんがひとつあったとさ」身近なみかんからあんなに可愛い動物たちが出来るのが素晴らしい!作っているときも楽しかったです。いつも最後に歌う「虹」今にぴったりの4番の歌詞良かったです。コロナ禍にちからいただけのセミナーでした。

●基調講演はジェンダーをはじめとした、大人の中にある偏見や偏りを自覚しながら、ロールモデルを示す必要性を認識できました。大きな変革の時期に、これまでの常識や意識を見直し、変えていく姿勢が重要だと感じました。実践報告では、オンラインでの活動の様子がよくわかり、参考になりました。コロナが落ち着いてからも、オンラインを続ける意義も感じました。たくさんの学びをありがとうございました。

●人間が皆持っている基本的な生きる権利について、深く考えさせられる内容でした。感動しました。自分自身の成長へつなげ社会へ還元出来るようになっていきたいと思えます。

## 病児の遊びとおもちゃケア

2022年 3月6日(日) 10:00 ~ 12:00

17回目の開催。遊びやおもちゃは武力の前では無力...。今回のように語り合える平和をわがてします。

基調講演 『あなたが作る子どもにとってのロールモデル』

インクルーシブミュージアム 代表 安曾 潤子 さん

インクルーシブミュージアム 誰にも開かれた場を作りたい

自己紹介 大まかの生物 子どもの車好きなもの

生物の歴史を知りたい 古生物学へ

本日の出会い 『パロアズラボ』 大学後は... 子どものための博物館 さらって体感して学ぶ 博物館 LLL ハズオンを実現

学びは何? 一番好きにいい インクルーシブミュージアム 研修コンサイルワークショップ 講師

子どもたちに違物差し持て欲しい 40年間の歴史の中で自分たちは生きている

Be Bold Be Brave Be You! 男児向け 女の子らしい...etc 大胆であれ 勇気であれ そしてあなた自身

エンパワメント 1. 多様なモデルを使う 2. 当事者が主体的な場を作る 3. いつも側にいない人が開ける 見さ(ハイアス)がない 私にはできる! Be who you needed When you were younger あなたが若かたに必要としていた人になりなさい

病児の遊び支援活動...実践報告①②

① おもちゃコンサルの病児あそびボランティア コロナ禍でオンライン

② 認定NPO法人難病の子ども支援全国ネットワーク

オンラインおもちの広場 30分、いつも同じタイムテーブル 安心して参加。出入り自由!

おもちコンサル 山佳-美弘-植村 幸子 さん

タレうさぎちゃん

Smile7kuma

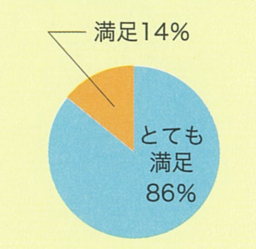
総評 化石 海馬を刺繍する 思考に通じる... 何をいっていいかわからないから始めよう

オンライン遊び体験 小松 祐子 さん

閉会のあいさつ インクルーシブ... こそ木むねこは 福島 慎吾 さん

エンディング

### セミナーDATA



参加人数 116名  
アンケート回答率 31%

在宅の難病のお子さんをご家族のための貸切デーにご招待!

# T 東京おもちゃ美術館 スマイルデー

難病の子どもと家族が安心しておもちゃ遊びができるイベント「スマイルデー」。東京おもちゃ美術館を貸切りにして2016年から定期的の実施してきましたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、オンラインで開催しました。8月と12月にそれぞれ6プログラムを実施し、全国各地からのべ321組のご家族にご参加いただきました。8月にはおまつり、12月にはクリスマスコンサートと、季節イベントを取り入れたプログラムや、夏の田んぼや冬の森での自然観察ワークショップ、国産カエデ材の木をやすり、スプーンをつくる木育ワークショップなど、様々な体験をしていただきました。

難病の子どもが外出するには呼吸ボンベやバギーといった装備に加えて、福祉車両を借りるなど、たくさんの準備が必要です。そのためにこれまで参加することができなかった人や遠方の人、今回はご自宅からご参加いただくことができました。また、入院先の病院からご参加くださる方も複数名いらっしゃいました。



## 難病児のためのおもちゃセット あそびのむし



あそびのむし

好きな遊びで  
夢中になる♪



「子どもと遊べるなんて知らなかった。」日々、医療ケアを欠かせない子どもの看護に追われるお母さんが漏らした一言から始まった、おもちゃセット「あそびのむし」。

2019年度、日本財団とおもちゃセットの共同開発を開始し、ご家族、児童発達支援施設等にヒアリングを重ね、2020年1月に完成しました。「あそびのむし」は厳選した世界中のおもちゃ約50点を詰め込んだセットで、難病の子どもと家族と一緒に遊び、親が子どもの成長を実感できる機会を与えることを目指します。「あそびのむし」には「～の虫」という言葉になぞらえて、病気であろうが、なかろうが、みんなで夢中になって遊んでほしい、そんな思いが込められています。2020年度は全国90か所の施設・病院へ「あそびのむし」を配布しました。

